

事業又は施策名【担当課】

⑫古戦場公園再整備事業【生涯学習課】

外部評価実施者 意見(コメント)

パークマネージメントの設立が目的・目標となっているが、長期的には、その活動の活性化が目標であると思う。将来的には、一部の歴史マニア対象ではなく、キッズ・小中学生のころから地元の郷土史に親しめるような体験型イベント・野外博物館など21世紀型史跡公園の在り方を探るのが大切だと思う。また、古戦場にこだわりすぎず、おしゃれなカフェやショップ、健康寿命のための散歩道を備えた多目的公園としての可能性を検討することも重要かもしれない。

歴史ブームの中、取り組みやすい、馴染みやすい事業と思います。ブームとはいえ、インパクトのあるイベント・活動が必須と思います。

例えば、

- ・名古屋城(武将隊)とのコラボイベント
- ・歴史好き女子の公募、コスプレイベント、ゆるキャラ・・・
- ・近隣のお城とのコラボイベント
- ・ウォーキングラリー など

また、大手企業とのスポンサー契約などして、資金集めをする。

整備基本計画の周知は、郷土資料室だけでなく、ショッピングセンター、駅などで実施したらどうでしょうか。

国指定史跡を含んだ古戦場公園について、「市民主体の公園運営」、「市民の居場所づくり」などの思いが先行し過ぎているのではないかと推察される。

パークマネジメントについては、まずは、誰が、どのように管理し、どのように運営していくのか、また、それを決める手順はどうしていくのかを明確にし、これに基づいて目標設定を行い、進めることも一考願いたい。

また、将来にわたって人々に愛され親しまれる“公園”となるようにするには、専門家や行政機関の意見のみならず、どのような内容また形態の公園にしていくのかについて、子どもや若者そしてお年寄りまで、何らかの機会をもって意見を聴取し取り入れていかないと、多くの人が集いそして本当に利用したくなる公園にならないと思われる。よって、その視点に配意した指標、目標を加えてほしい。

まだ再整備の計画が立てられたばかりのようなので、今後の活動に注目したいと思った。

VRを使う案はとても近代的で面白そうだった。

資料室でワークショップを行う際には、近隣の美術館や博物館を参考にしてもいいと思う。

国指定の史跡なので、基本設計、実施設計を立てる際にも先進事例を参考に行ってほしいと思う。

老朽化に伴い再整備をする事によって、今より興味をもってもらい知ってもらったり足を運んでもらう機会になると思います。小さい子でも楽しめるような歴史の説明をしたり、少しでも多くの人達が認知できるよう宣伝したりすれば地域以外の方でも利用してもらえなると考えます。昔からの歴史を後世に伝えていくには、今の私達のような若い世代が知る事が必要なもので、この事業はとてもいいものだと思います。